

## Ⅷ. 「仕事以外での風通しの良さ」のアイデア

### アイデア1

#### “楽しいこと” しよう会（神山中学校の実践とアイデア）

○目的 職員間の和とコミュニケーションの向上を図る。

○日時 年度当初や、学期末の親睦会で+校内研修で

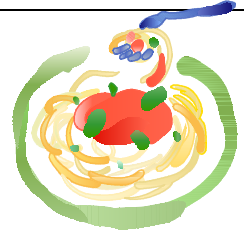
○内容

①親睦会では、必ずゲームやクイズをする。

（例えば）年度初めの歓迎会では、新しく入った先生方に関するクイズ「これは誰でしょう」をする。事前に新しく入った先生方から趣味や嗜好を聞いておいてクイズにする。

②校内研修の時に、学校で、美味しい物を作ろう。

（実践例）学校菜園で収穫した物を使って、アイデア料理。好評だったものは、収穫したイモで、「紅いもタルト」、トマトとバジルを使って「手作りピザ」、モーターとアルミ缶で「手作り綿菓子」、「アメゴと煮卵の燻製作り」。



楽しいことを企画して、みんなでわっと騒ぎましょう。仕事は、いくらしてもきりが無い。早めに計画すると、楽しいことを考える時間が持続する。学校を楽しくするのは、自分たち（職員）です！

### アイデア2

#### 私たち癒され隊♥（城北高校の実践とアイデア）

○目的 日頃のストレスの解消のため

○日時 学期末や年度末+校内研修で

○内容

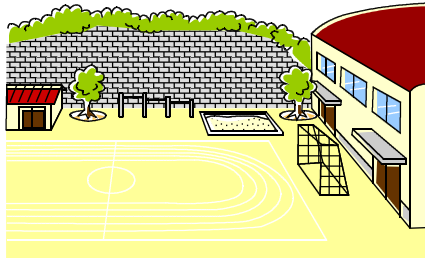
①女子会を開催したところ、多くの教職員が参加し、異世代交流や日頃校務分掌の異なる先生方と話が弾んでとても良かった。

②定期考査の時などの研修で、時には「癒し」の研修を企画する。

（例えば）・アロマオイル研修

・ツボ押しの研修

・美味しいものをみんなで作って、みんなで食べる etc・・・。



### アイデア3

みんなで歩こう！校区たんけん！（大松小学校のアイデア）

- 目的 気分転換＋地域への理解を深める
- 日時 季節の良い春と秋に1度ずつ
- 内容

教職員は、意外と校区（地域）のことを知らないし、集まって歩いたりしていない。まずは、車で出かけそこから地域を探検しながら学校に帰ってくる。集団で歩けば、コミュニケーションも深まるし、地域の方々とふれ合う機会も多くあるはず。みんなで歩くだけで、リフレッシュ！

### アイデア4

お誕生日に話そう会（人権教育課のアイデア）

- 目的 職員同士の誕生日を祝うとともに互いに感謝の気持ちをもつことにより、親睦を深め、働きやすい雰囲気づくりをする。
- 日時 所属職員の誕生日
- 内容



- ・簡単な誕生日会を行う。
- ・スピーチ（誕生にまつわるエピソード、名前の由来、将来の夢などを語る）
- ・メッセージ（〇〇さんのいいところ、感謝の言葉などを伝える）
- ・乾杯（お茶やコーヒーを飲みながら、楽しく語り合う時間をとる）
- ・誕生日の職員は、早めに退庁しリフレッシュする時間に充てる。

業務以外のことについても互いに知り合うことができ、互いの良いところや感謝の気持ちを伝え合うことで、個々の職員の自尊感情が高まる。

また、互いの良いところを伝え合う中で、業務に対する姿勢が確認され、所属全体の業務改善につながる。

加えて、早めに退庁し、個人の趣味や家族団らんなどの時間をもつことにより、リフレッシュでき、業務に取り組む意欲が増す。

## アイデア5

ランチ・ミーティング（城北高校のアイデア）

- 目的 学年等の垣根を越えて親睦を深める
- 日時 定期考査の昼食時等
- 内容

教科や校務分掌で集まり，昼食会を開き，情報交換や親睦を深める。  
職員室で過ごす時とは違う新たな一面を知ることができ，それによって職員室でのコミュニケーションが増える。

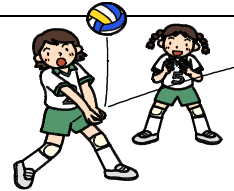


## アイデア6

話（わ）～和（わ）～輪（わ）～（大松小学校のアイデア）

- 目的 教職員の親睦を図る
- 日時 毎月1回1時間程度
- 内容

スポーツ大会（バレー，卓球，その他何でも），茶話会，トランプ大会等々  
思いつく限りのことを全員で楽しむ。



## アイデア7

めだつところへ「フレーズ」掲示

（美馬市喜来小学校のアイデア）

- 目的 繰り返してのコンプライアンス意識の醸成
- 日時 常時
- 内容

- ・一人になる時間（職員トイレ）や，必ず立ち止まる職員室の出入口に今年応募した「フレーズ」を1フレーズずつラミネートにかけて貼る。
- ・掲示する「フレーズ」や場所を定期的にローテーションすることで，目先も変わり，リフレッシュできる。
- ・自分たちで考えた言葉であるので受け入れやすい。
- ・自校内で再募集し，「フレーズ」を増やしていく。



## アイデア8

ありがとうの広場（板野支援学校のアイデア）

- 目的 教職員間のコミュニケーションを活性化させる
- 日時 誰かに感謝の気持ちを伝えたい時（随時）
- 内容

ありがとう

教職員が「してもらってありがとう」と思ったことをハート型の付箋に記入して、職員室の「ありがとうの広場」（掲示板）に貼る。ハート型の付箋は、掲示板付近に用意しておく。

その場で「ありがとう」「お世話になりました」と言うことは習慣づいていると思うが、それを目に見える形で表し、みんなで「ありがとう」の気持ちを共有する。

小さなことでも、付箋に貼って視覚化することで、感謝の気持ちを残る形ではっきりと表すことができる。このやり方が好評であれば、ホール等に児童生徒用の「ありがとうのひろば」（掲示板）を設置する。

## アイデア9

「ありがとうカード」大作戦（昼間小学校のアイデア）

- 目的 教職員間の心のふれ合いを活性化させる
- 日時 誰かに感謝の気持ちを伝えたい時（随時）
- 内容

企業等が導入していますが、教職員相互で「助けられたこと」「手伝ってもらったこと」「うれしかったこと」等を「ありがとうカード」に書いて「ありがとうボックス」に投函、または机の上に置いていく。

Thank You 